



平成 26 年 2 月 1 日

三ブロック懇談会

発行責任者 萩野行広

第 6 号

JJJ つうしん TBG 版

1. 第 4 回 東海・北陸ブロック協議会役員会報告

会 長 長谷部 光由 (岐阜県)

副会長 森本 定利 (三重県)

事務局長 前川 慎太郎 (福井県)

大晦日に「日本TBG協会からの緊急連絡」の書類が届き、大変な驚きを感じたところであり東海・北陸ブロックとして今後の対応は、東日本ブロックの一員として埼玉で行なわれる東日本ブロック協議会に対する意見書を提示するため 1 月 25 日、岐阜県瑞穂市において会議を開催いたしました。

東海・北陸ブロックとしては、今回の会議には平日開催とのことで役員各位の都合がつかないため、意見書を通じて決意を皆様にお伝えすることといたしました。

会議の中での議論点は以上です。

- 1) 今年度の日本協会総会において、使途不明金の承認は、パラパラの拍手と委任状で行なわれ十分に検討されたものではなく、証拠書類等もなく執行部、事務局が回答できる状況になっていない。
- 2) 理事・常任理事の選任において、各ブロックから提出された役員体制を無視し続け、東海・北陸ブロックにおいては、総会で凶るとのことで提出した新役員名簿を提出、報告をしたにもかかわらず理事会・総会においても無視されている現状である。
- 3) 使途不明金があること自体、大変な問題であるにもかかわらず、現執行部においては使途不明金に対する責任問題に対して回避しており、前年度のみならず、過去の決算においてもかなりの不明金及び証拠書類の無い出金についても責任をとるべきであり、押塚氏一人の問題として片付けようとしていることで済まそうとしている。
- 4) まずは 26 年度総会においては、役員改選時期であることから、現執後部の刷新を求めています。
- 5) 現執行部の揺さぶり（個人的に連絡を取り、協会役員を餌に一本釣りの役員を増やす等）に動揺せず、各ブロックを固めていく必要があります。



日本協会がどう、というよりこれから先のことを、全国の会員のことを考えて行こう。

- 6) 東日本ブロック協議会で、歩調を合わせ新体制への準備に入る。又協調される他のブロックにも呼びかけ輪を広めて行こう。

以上の内容で議論 意見交換が交わされました。

また後日、山本氏（福井県）山岸氏（富山県）の理事については両氏とも、今年度の任期を全うした時点で理事を辞任されるとの回答が得られています。

東海・北陸ブロック協議会として、上記の内容に対し7県が同一の意見でまとめ、関東・東北地区と歩調を合わせ、又近畿・中国・四国地区とも連絡を取りターゲット・バードゴルフ協会の発展を切に望みます。

2. 関東ブロック協議会理事会報告

年の瀬の12月27日、前日本協会調査委員長の船見敬造氏の出席を求め開催。

参加者：神奈川県2名、群馬県2名、山梨県2名、千葉県2名、栃木県2名、茨城県3名
埼玉県4名

山形県1名、ウインストン1名

場 所：埼玉県川越市 茶味居

議 題： 議長：山梨県理事 味藤哲雄 書記：埼玉県理事 田口謙秀

1. 日本TBG協会大阪理事会の報告 三ブロック理事長：荻野行広
詳細は「JJJ つうしん第5号」を参照してください。
2. 前調査委員長船見氏に新たな使途不明金（312万円と23万円余り）の確認
会計がしっかりしていなかったことは、大阪の理事会でも話題になっておりましたが、24年度総会后東京都の山北さんから「再調査」の相談がありましたが「新たな疑惑を生じさせるだけだからやめるように」と返答しました。
結論は、基本となる会計帳簿がいい加減なのですから、再調査した回数だけ違う数字が上がってしまいます。
また、調査委員会は平成24年6月9日の総会で「解散」しております。
山北氏が、自分勝手に（証拠書類がないのですからこう言わざるを得ません）算出した金額が23万円余りです。
3. 近畿ブロックの合流について
三ブロック理事長：荻野行広
4. 九州・中国・四国ブロックの現状について
ウインストン社社長：野島三訓
5. 平成26年総会に向けた対策
(ロードマップ、工程表)
三ブロック会計：栃窪一男 別添参照
6. 事務局連絡システム（案）について
三ブロック事務局長：船見敬造
7. 関東ブロック年間計画、会議予定
三ブロック理事長：荻野行広
8. その他



大阪城